

## シンガポールでの石川県産品のプロモーションについて

### ご当地利き酒コラボプロジェクト in シンガポールの開催について

近年、世界的な日本食ブームを背景に日本酒の輸出額が増加しており、東南アジアにおいてはシンガポールが最大の輸出先(2019年財務省貿易統計)となっています。また、市場の成熟と共に消費者の嗜好も多様化しているのが現状です。他方、新型コロナウイルス感染症の影響による両国の出入国規制が続いているため、訪日旅行は困難な状況が続いています。こうした中、シンガポールに拠点を置く地方自治体のうち当県のほか、北海道、静岡県とが連携し、シンガポール国内における日本酒の消費拡大とコロナが終息した後の訪日旅行の需要喚起を目的として、各地の日本酒を飲み比べていただきながら、観光名所や食を紹介する「ご当地利き酒コラボプロジェクト in シンガポール」を1月18日から2月17日の1ヶ月間、飲食店10店舗で実施しています。

参加飲食店によってセレクトされた3道県のお酒を利き酒セットとして用意するとともに、日本酒に関するクイズに回答した方の中から抽選で地酒が当たるクイズキャンペーンを実施するなど、来店者の味覚を刺激しながら日本酒について楽しんで学ぶことができる取り組みとしました。来店されたお客様からは「今は旅行できないので、日本の異なる地域のお酒を飲み比べできて楽しい。」「(この飲み比べで)石川県に興味を持った、海外旅行できるようになったら石川で料理と日本酒を味わいたい」など、好評を得ています。

また、この取り組みのもう一つの側面として、今回参加店舗には1か月間トライアルで各道県の日本酒を取り扱ってもらいましたが、直にお客様の声を聞く機会を得ることによって、期間終了後の継続取引につなげる狙いもあります。

今回の取り組みを通じて、一人でも多くの石川ファンをつくとともに、輸出拡大につながるよう、各道県一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

# "TRAVEL" TO JAPAN WITH US!

Try unique Sakes and experience Japan!

**LIGHT & SWEET SAKE!**

Represented by:  
Shingo Higashi (Director of the Hokkaido Government Representative Office)

**Kitanonishiki Jyunmai Daiginjo** 北の錦  
Kura Master 2020 - Platinum award  
純米大吟醸  
暖簾ラベル

From snow country  
**Hokkaido**  
北海道

SMV +0  
Sweet ← Dry

Taste: Clean, Light and Slightly Sweet  
Alcohol level: 15%  
Acidity: 1.8  
Rice Polishing Rate: 45%

**FRUITY TASTE SAKE!**

Represented by:  
Chief Representative of Shizuoka Prefectural Government

**Hananomai Jyunmai Ginjo** 花の舞  
純米吟醸

From home of Mt. Fuji  
**Shizuoka**  
静岡

SMV +3~+4  
Sweet ← Dry

Taste: Fruity like Banana and Creamy  
Alcohol level: 16.5%  
Acidity: 1.3  
Rice Polishing Rate: 55%

**GOLD LEAF SAKE!**

Represented by:  
Director of Ishikawa Prefectural Government of Japan

**Nichiei Kinsai Jyunmai with Kaga Gold Leaf** 日禁  
加賀金箔入り  
金彩  
純米酒

From the Golden City  
**Ishikawa**  
石川

SMV +5  
Sweet ← Dry

Taste: Dry and Refreshing  
Alcohol level: 14%  
Acidity: 1.2  
Rice Polishing Rate: 70%

**THE BATTLE OF PREFECTURES** 北海道  
an Official Prefecture Government Project

Take a tour to learn more about these sakes!

## 道県の紹介ポスター

### シンガポール高島屋の健康関連食品フェアに参加

12月28日から1月12日の約2週間、シンガポール高島屋開催の健康関連食品フェアに石川県アンテナショップブースを出展しました。シンガポールではBMIの数値が高い方・糖尿病の方の人口割合が比較的高く、また、日本のような保険制度とは異なる

り、個人が医療費を積み立て、病気にかかった際はその積立金から治療費を払う必要があるため、近年健康に対する意識が高まっています。実際、早朝や夜間、至る所でランニングやウォーキングをしている方を目にします。こうした健康志向の高まりをターゲットとした今回の催事ですが、今回の出展にあたっては過去の催事の売れ行きを見た高島屋側からオファーがあったものであり、本県の商品がシンガポールの地で認められてきている確かな証拠であると捉え、大変嬉しく感じております。これからもこうした一つ一つの取り組みを通じてシンガポールのお客様を始め、高島屋をはじめとして各小売店に対しても石川県をPRしていきます。



高島屋健康関連食品フェアの石川県アンテナショップブース

## シンガポールにおける新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種開始について

シンガポールでは、12月30日からシンガポール国立感染症センターの医師や看護師などの医療関係者、隔離施設のスタッフなど、感染リスクの高い人を中心に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が開始されました。1/13現在で、6,200人以上がワクチンの初回接種を受けました。また、1月下旬からは70歳以上の高齢者を対象に接種を開始、次いで、建設、造船・海洋、石油・化学業界を優先度が高いグループと位置付け、接種が開始される予定です。これら優先度の高いグループの接種が終了したのち、シンガポール人や居住外国人など、接種対象者を順次拡大していくこととなっており、政府は7-9月期までに全人口の約570万人分のワクチン接種準備が完了する見通しと発表しています。

また、隣国マレーシアやインドネシアでも新型コロナウイルス感染症ワクチンの緊急使用許可が出されており、インドネシアでは1月13日に大統領を第1号としてワクチン摂取が開始され、今後、接種が拡大していくとのことです。ワクチン接種により少しでも感染拡大が抑えられることを願っております。



ワクチンを接種するリー首相（CNAより）